

おわりに

宮城県沿岸では、牡蠣・海苔などの養殖業や沿岸漁業が盛んに行われている。また沖合は親潮と黒潮が交わる世界でも有数の好漁場となっており、底引き網等の沖合漁業も行われている。漁業生産量は全国で2位、漁業生産額は5位であり、水産業が特に重要な位置づけにあるといえる。近年の地球温暖化による気象状況の変化、また東日本大震災の影響による海洋環境に変化が起きていることで、環境への順応が必要不可欠であり、より一層の資源管理の徹底と、安定した漁獲量の確保が重要であるといえる。

デジタル地域振興用MCAの、利用拡大を検討するに当たり、目的や環境に応じてエリア確保等のために基地局の設置場所等の工夫が必要であり、実証実験の結果では松島湾での運用については問題ないことを評価できた。

本調査検討の結果が有効に活用され、水産業を含めた地域産業の更なる発展を支援する高度な通信システムとして、デジタル地域振興用MCAが利用されていくことを期待する。